

留学生に聞いてみました

YOUの日本留学の感想は？

2023年9月に日本に到着したとき、私は興奮と好奇心でいっぱいでした。以前から日本の豊かな文化や、雪の北海道から南国の沖縄までの美しい自然に強く惹かれていました。日本への留学はまさに夢が叶った瞬間でした。

私は横浜国立大学のインフラマネジメントの修士課程で学んでいます。しかし、勉学以上にこの留学を特別なものにしてくれたのが、私の住まいである横浜市国際学生会館（YISH）です。

YISHでの生活は、私の人生で最も意味のある時のひとつとなりました。引越した日には世界中からの学生たちに迎えられ、毎日新しい出会いや交流のチャンスがありました。友人達との会話、地域の方々との触れ合い、そして私たちを常に支えてくださるYISHのスタッフの皆さんとの関わりの一つひとつが、かけがえのない経験でした。

特に思い出深いのは、地域の行事に参加したこと。潮田祭りの神輿担ぎや、盆踊り、地元の学校での文化紹介や交流活動などを通じて日本文化を体験し、自国の文化を紹介して、真の友情を育むことができました。

YISHは、単なる学生寮ではなく、「家」と呼べる場所でした。ロケーションも素晴らしく、近くに鶴見川が静かに流れてジョギングや散歩に最適で、徒歩圏内の鶴見スポーツセンターは気軽に運動できる環境が整っています。さらに、部屋からは海やみなとみらい、晴れた日には富士山も見ることができます。こうした日常の景色が、忙しい学生生活の中で、静かな感動と癒しの時間を与えてくれました。

YISHを特別な場所に行っているのは、「コミュニティの精神」だと思います。一緒に料理をしたり、食事を囲んで笑ったり、イベント準備をしたり、常に「つながり」を感じることができました。多様性が尊重され、友情が育まれ、かけがえのない思い出が生まれる場所でした。

9月のインドへの帰国日が近づいていますが、私はここで得た学びとともに、感謝の気持ちで胸がいっぱいです。この素晴らしい生活を、母国の人々にも伝え、より多くの学生がこのような経験を得られるように願っています。

最後に、YISHのスタッフの皆さん、共に暮らした仲間たち、そして温かい地域の皆さまへ——この素晴らしい体験をください、本当にありがとうございました。YISHは、これからも私の心の中に生き続けます。
ブラシャント・シン（インド 横浜国立大学大学院）



よこはま地球村

横浜市国際学生会館ニュース

学生会館のマスコット
ラブアースベア

2025
No.125



秋
autumn

横浜市国際学生会館は、留学生等への宿泊施設の提供と市民の国際理解を目的として横浜市が開設し、公益財団法人 横浜市国際交流協会が指定管理者として管理・運営しています。

横浜市国際学生会館2025年度主催事業

6月21日(土)開催

留学生による文化講座

～ウズベキスタンってどんな国？～



ウズベキスタンという国をよく知っている方は少ないのではないのでしょうか？

日本では「中央アジアの国」だとか、「シルクロード中継地として栄えたところ」というぐらいの認識の方が多くと思います。

今回の文化講座では、日本ではあまり知られていないこの国の地理・言語・食文化・民族衣装などについて丁寧な説明があり、経済や産業については、その方面が専門のご主人のラシードさん（横浜国立大学大学院）から説明がありました。



来場の方はみな熱心に耳を傾けていました

ウズベキスタンの人気料理サムサ（窯で焼いた肉や野菜詰パン）の試食やくじ引きでの香辛料のプレゼントなども好評で、来場の方々からはウズベキスタンがずっと身近になったという感想が多く寄せられました。

今回の講師

スルトノヴァ ヒローラさん



ウズベキスタンは日本ではまだまだあまり知られていない国かもしれませんが、今回の文化講座を通じて、日本の皆様に母国を紹介する貴重な機会をいただき、心より感謝申し上げます。外の暑さにもかかわらず、多くの方々に関心をもって文化講座にご参加くださり、大変嬉しく思いました。また、開催にあたって学生会館の皆様が準備を手伝ってくださり、大変助かりました。

文化や食、社会的背景など、様々な面から母国の紹介をすることができ、日本人参加者の皆様と家族全員で直接交流できたことは、私たちにとってもかけがえのない、素晴らしい経験となりました。

（講師プロフィール）

一橋大学大学院経済研究科博士課程1年生
趣味は料理とピアノ演奏

学生会館からのお知らせ

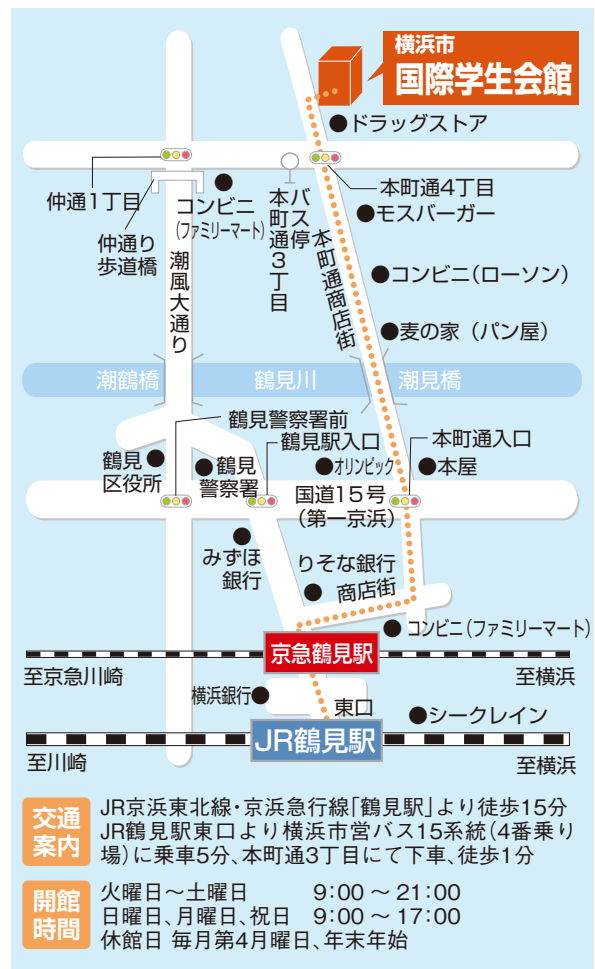
◆潮田交流プラザ秋まつり

- 日 程: 9月21日(日) 10:45～15:00
- 内 容: インターナショナル・カフェ 他(留学生たちの国の飲み物とお菓子)
- 会 場: 国際学生会館3階ホール

◆YISH卒業生の日本での仕事や生活の話を聞く会&OB・OG会

- 日 程: 10月19日(日) 14:00～17:00
- 会 場: 国際学生会館3階ホール
- 定 員: 40名
- 申込方法: 9月上旬にホームページで案内予定

学生会館の卒業生や、鶴見地域で不動産業を営んでいる方、留学生の就職等に関心のある方、留学生の卒業後の日本での生活に関わりのある方、そして現在日本の学校に留学中の方等、ご参加お待ちしております！



■発行: 横浜市国際学生会館 (YISH)
〒230-0048 横浜市鶴見区本町通4-171-23
Tel.045-507-0121 Fax.045-507-2441
Email: yish@yoke.or.jp
ホームページ: <https://yish-yoke.com>
■印刷/デザイン: ツルミ印刷株式会社

横浜市国際学生会館ニュース

よこはま地球村

2025年 秋号
2025年9月1日発行 第125号

6月7日(土)・8日(日) 潮田神社のお祭りに 参加しました

今年も恒例の潮田神社例大祭に留学生たちが参加しました。日本でしか経験できない「神輿担ぎ」は留学生たちにとって忘れられない思い出となったようです。



今回はお神輿をかつげるチャンスがあったことは本当にありがたいです。日本に来てから、さまざまなお祭りに参加するようにしています。いろいろな地区や都市のコミュニティがどのようにこの行事を祝っているのかを観察するのが好きだし、こうしたお祝いをするのはとても大切なことだと思います。鶴見のお神輿祭りで、寮の仲間と楽しんで、いつもと違った日本人が見えてくる体験でした。はっぴも着て、朝から神社でのお祝いに参加して、大きなお神輿を担いで、とても楽しかったです。僕の留学の中で、最も印象的な体験の一つとしてきっと記憶に残ると思います。

マントヴァーニ・マッテオ
(イタリア 横浜市立大学国際教養学部)



マッテオさん(左)とネルさん(右)



留学生たちが揃いの法被でワッショイ



潮田神社は大賑わい

今回のお祭りは一生忘れられない思い出です。最初は自分が何に参加したか分かりませんでしたが、その日はお祭りについてたくさんのことを学びました。朝、潮田神社へ行き、大きな神輿を担いだ時は圧倒されました。こんなに重いものを担いだことがありませんでした！しかし、会場は雰囲気良く、大きな歓声が強いモチベーションになりました。毎年違う自治会が担当するため、この神輿を担げるのは貴重な機会だと知り、とても光栄に思います。

神輿を何度も担ぎ、先頭の提灯も担ぎました！神輿を担いで様々な場所を歩きましたが、一番の思い出は、たくさんの神輿が集って本町通をパレードした時です。たくさんの屋台や人で賑わっていてとても良い雰囲気でした。

この日のハイライトは、神輿を潮田神社まで担いだことです。肩はひどく痛みましたが、参加できて嬉しかったです！この時が今回の祭りの中で一番賑やかで、最高に盛り上がった瞬間でした！たくさんの人たちが大きな掛け声で神輿を高く持ち上げました。雰囲気がとても盛り上がり、自分で担いでも見ているだけでもとても楽しかったです。友達と一緒にこの祭りに参加する機会を得て、とても光栄で感謝しています。とても楽しく、忘れられない経験になりました！

ホーガン ネル アリス
(イギリス 横浜市立大学国際教養学部)

なるほど!あもしろい! 世界のことわざ ～ロシア～

本当の友達とは、あなたの間違いや問題点を見て見ぬふりをせず、正直に意見を言ってくれる存在です。

それは時に耳が痛いことでもあります。成長や改善のために必要なことです。一方、

「友は反対し、敵は同調する」
Друг спорит,
враг поддакивает

敵や本当は好意を持たない人は、あなたに害があってもわざと同意し、あえて指摘せずに静かに見守ることがあります。

ロスリヤコフ イーゴル
(横浜デザイン学院)

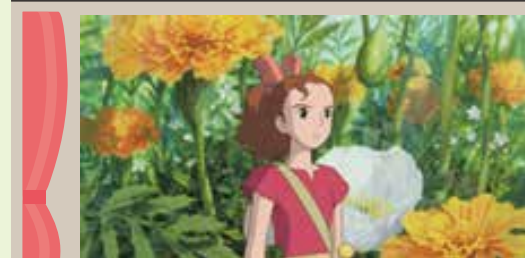


RA&YRA 活動報告



4～6月では、このような
イベントを開催しました！

映画を見る会



ジブリ映画の鑑賞会！
(※画像提供：ジブリ公式HP)

たこ焼きパーティー



今年もたこ焼き作りに挑戦！

イタリア料理



ピザは生地から作りました！



中国料理



しびれる辛さにびっくり！

銭湯体験



初めての銭湯を楽しみました！

クレープパーティー



クレープ生地から作りました！

イベントを通じて、様々な国の文化に触れながら楽しく生活しています！